

# なのはな

NPO法人 なのはな  
◇あおぞらキンダーガーデン  
◇まほろば  
◇わとと・あおぞら  
〒420-0961 静岡市葵区北226-1  
TEL/FAX 054-246-2213  
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp  
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp  
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

**あけまして おめでとう ございます**

**ことしもどうぞよろしく申し上げます**

みなさまは、新しい年をどのように迎えられたでしょうか？

1月8日、若駒会による「獅子舞」が園庭で行われました。

獅子舞を見て泣き出す子ども達・必死に怖さを我慢する子ども達・ちょっと余裕でみているけど近寄らない距離で見ると子ども達と子どもの表情は、様々でしたが共通するのは「真剣なまなざし」でした。

演じてくださるみなさまの熱い心にのせて奏でる音や獅子の動きが、子ども達の心を掴んで離さないひととき。勿論それを見る大人達も素敵な笑顔でした。

現在、経済・教育・福祉など社会が厳しい時代ですが、唯一、人間だけが「未来を描く」力を持っています。厳しいからこそ、こんな時代だからこそ「夢を」持って生きていくことが、今の厳しさを切り拓いていく力です。こうした獅子舞を見る経験も「未来を切り開く」力に繋がっていくのです。

子ども達は、いつも前に向かって生きています。

大人は、今こそ子どものもつ強いエネルギー（もっと・こんどこそ・もう1回！・大きくなりたい）を貰って、大人達が繋がり、厳しさに負けず、今年も素敵な1年になるように過ごしていきましょうね（勿論つらい時には声を出す勇気も必要です）

今年1年の命と実りを運んでくださった「獅子舞に」感謝し、今年もみなさまが素敵な1年となるように願っています。

今年も、スタッフ一同どうぞよろしく申し上げます。

(おか)

# あおぞらだより

12月末、あおぞらの保護者を対象に「効果的コミュニケーションの方法について考える」講座が開かれました。講師も、同じ保護者で大学の専門家という素敵な会でした。

会の冒頭では、余り知らない現在の若者の心を知ることができました。例えば、学食で一人で昼食を取っているところを「見られたくない」「同情されたくない」「声をかけられたくない」等、の理由からトイレの個室で昼食をとるという学生が増えているという。また、そんな姿を取り囲む周りの学生も誘ったところで、こちらが傷つくと声を掛けられずにいる・・・。年々、コミュニケーション能力が低下していると言われていますが、現在の大学生の様子を聞くと、今の子ども達が、大学生、大人になった時の人の関わり方、社会との関わり方は、一体どうなってしまうんだろう・・・と思わず考えてしまうひとときでした。

そして、その子ども達を育てている私達大人は、どうなんだろうということで講座では、色々な視点から自分自身をみつめたりじぶんの感情に気付いたり、同じように相手を思ったりすることを体験しました。コミュニケーションは、相手に託すものではなく一方通行でもいけない。自分を大事に相手も大事にしていく（あおぞらの保育と同じですね）コミュニケーション能力を高めていかなければと感じるととてもいい講座でした。そして、参加されたおかあさん、講師のおかあさんみんなで行われたことに感謝しています。ありがとうございました。

さて、1月から2月にわたり連続6回のノーバディズ・パーフェクト講座が開催されます。（チラシのほしい方は、園までどうぞ）

関心のある方は、ぜひご参加ください。

参加者同士、コミュニケーションを取りながら、子育ての元気づくりを応援していきたいと思っています。お待ちしておりますね。

（裕子）

## まほろばの部屋から

### がまん

おやつのお菓子を全部食べてしまった。

「カーリー（おかわり）」と言う。

何度目かの「カーリー（おかわり）」でさすがになくなった。

「もうないよ。からっぽ」と伝えても

「カーリー（おかわり）」とくり返す。

「だから、もうないよ。からっぽ。」

数回くり返した後、食べるフリをしはじめた。

ものすごくおいしそうに、一生懸命食べている。

お母さんにも、「どーぞ」してくれた。

その後、納得したのか、終わった。

自分の想像力が「がまん」を助けてくれた。

(あきこ)

## わとと・あおぞら

### どんな 出会いの年になるかな？

12月に“クリスマスコンサートとケーキの会”があり、たくさんの親子が集って下さいました。

出産を終え、久しぶりのママもいらっしやり、

「わあ、生まれたんだね。おめでとう。何ヶ月になった？」

「ありがとう。もうすぐ2カ月。」

「うちの子は 3ヶ月になったよ。」

再会を喜び合い、その寝顔を囲んで幸せが満ちてきて、みんなの顔に笑みが溢れていました。

「〇〇さんももうすぐですね。」と出産を控えたママに声がかかり、

「お兄ちゃんかな？楽しみだね。」

「会いたいなあ、落ち着いたらわととへ顔見せてね。」

わととで出会いこのように繋がっていく ママや子どもたちを 嬉しく思うスタッフです。

ドアを開ければ、いつでも繋がれる場としての“わとと”でありたい。

今年も新たな出会いを楽しみにしています。

<かよみ>

# 友達と見る絵本



はじめてのぼうけん1

ぴょ〜ん / まつおか たつひで 作・絵 ポプラ社

かえるが こねこが いぬが・・・ ばったが・・・ うさぎが・・・

それぞれ特徴をとらえ、

ぴょーんと とぶ姿が描かれ、

そして かたつむりが・・・ だめか・・・

つづいてわたしも ぴょ〜ん ととぶ絵本。

子どもたちも 動物たちと一緒に “ぴょ〜ん” と声を出しながら  
手と首も伸ばして 上を見上げるポーズ。

その繰り返しが とっても 楽しくなる絵本です。

(いなば)

**NPO法人なのはな (あおぞらキンダーガーデン・わととあおぞら・まほろば) 講演会**

■ 日程 平成23年2月19日(土曜日) 午後14時～

## 子どもの発達に共感する時

～支援や実践を考える視点～

2010.5月に出版された「子どもの発達に共感する時」の題名でお話していただきます。いつも子どもに優しい眼差しを送られている先生のお話は、子どもをいとおしく思い大人を優しい気持ちにさせてくれます。ぜひご参加ください。

講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授

木下 孝司 先生

■ 会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 大会議室